

令和3年度事業報告書

個別事業の内容について

I〔公益目的事業〕

1. 手話通訳者派遣事業（公1）

手話をコミュニケーションの手段とする聴覚障害者の社会生活上の意思疎通を円滑にするために手話通訳者及び手話講師の派遣事業に取り組んだ。

(1) 手話通訳者派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、手話通訳を必要とする団体（行政・民間企業等）の申し込みを受け付け、岡山県登録手話通訳者に打診し、内定した手話通訳者を派遣した。

岡山県手話通訳者登録試験に合格し手話通訳者として岡山県に登録された者を派遣登録しており、令和3年度は3名を登録、年度末現在の登録者は119名である。

事業実施のための財源は、手話通訳依頼者からの手話通訳料を充当した。

① 派遣件数（合計244件）

4月・・・25件	5月・・・16件	6月・・・15件	7月・・・12件
8月・・・12件	9月・・・18件	10月・・・29件	11月・・・29件
12月・・・24件	1月・・・18件	2月・・・15件	3月・・・31件

② 地区別派遣件数（合計244件）

岡山市・・・181件	倉敷市・・・13件	津山市・・・4件
玉野市・・・1件	高梁市・・・1件	新見市・・・3件
備前市・・・1件	瀬戸内市・・・7件	赤磐市・・・3件
矢掛町・・・1件	鏡野町・・・2件	美咲町・・・10件
吉備中央町・・・17件		

③ 内容別派遣件数（合計244件）

ワイプ・・・1件	知事放送・・・26件	生命・健康・・・4件
警察・裁判・・・3件	生活・生計・・・0件	行政・・・10件
学校・教育・・・5件	職業・労働・・・107件	文化・スポーツ・・・10件
会議・集会・・・69件	聴障協活動・・・0件	その他・・・1件

(2) 手話講師派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、団体（行政・民間企業等）からの申し込みを受け付け、開催される手話講座や手話講義に、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会が認めた手話講師を派遣し、聴覚障害者や手話に関する理解を広げると共に、聴覚障害者の福祉向上と社会参加の促進を図った。

講師登録研修を受けた者を毎年登録しており、令和3年度末現在の登録人数は73名である。

事業実施のための財源は、手話講師派遣依頼者からの手話講師料を充当した。

[手話講師派遣実績]

依頼者	派遣日数	派遣人数	備考
美作スポーツ医療看護学校	15日	2人	
専門学校岡山ビューティモード	11日	2人	
専門学校ビーマックス	33日	2人	
専門学校岡山ビジネスカレッジ	1日	1人	講師団会議
	29日	2人	1年医療事務①(前後期)
	29日	2人	1年医療事務②(前後期)
	15日	2人	2年医療事務
	15日	2人	3年診療情報管理士
	8日	2人	1年介護福祉
旭川荘厚生専門学校	15日	2人	
朝日医療大学校	15日	2人	看護学科
	24日	2人	歯科衛生学科
岡山高等歯科衛生専門学院	8日	2人	
国立吉備高原リハビリテーションセンター	20日	1人	
岡山県警察本部	1日	2人	
岡山県立岡山聾学校	4日	2人	
岡山県立津山東高等学校	2日	2人	
岡山県立瀬戸南高等学校	15日	2人	
就実高等学校	19日	2人	
岡山市立岡山後楽館高等学校	1日	2人	
総社市福祉課	18日	1人	
高梁市	18日	2人	奉仕員養成講座
	12日	2人	救命救急士
	1日	1人	こども講座
	1日	2人	出前講座
瀬戸内市	18日	1人	
井原市社会福祉協議会	15日	2人	

新見市社会福祉協議会	18日	2人	
せとうち難聴者の会	5日	1人	
岡山市福祉交流プラザさいでん	12日	2人	
NPO法人まちづくり推進機構岡山	1日	1人	
合計	399日	55人	

2. 機関紙一般購読事業（公2）

聴覚障害者の情報不足を補うために、聴覚障害者福祉に関わる情報を提供するとともに、社会に対して聴覚障害者についての理解と啓発を促すため、機関紙一般購読事業を実施した。

機関紙を岡山県内の正会員、賛助会員、手話サークル会員等の手話関係者、購読を希望する一般の方々及び関係機関・団体等へ月1回定期的に発行した。（発行部数513部・年間購読料2,500円）なお、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の正会員、賛助会員には所定の年会費を徴収し配布した。

機関紙では、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の活動報告だけでなく、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会や関係団体等の行事の案内、災害情報や障害者に関する法律等の情報、全国の聴覚障害に関する様々な情報発信を行った。

事業実施のための財源は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」より受けている「共同募金配分金」及び機関紙購読料を充当した。

3. 聴覚障害者のパソコン利用促進事業（公3）

聴覚障害者のパソコン利用に対するサポートや指導を行い、ITに関する知識を高め、社会への聴覚障害者参加の一層の促進を図るために、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」を受託し、「聴覚障害者のパソコン利用促進事業」を実施していたが、平成28年度から委託が終了したため、令和3年度は事業を休止した。

（1）パソコンボランティア養成・派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」に規定する「パソコンボランティア養成・派遣事業」を受託し、以下の事業を行っていたが、受託が得られなくなったため、事業を休止した。

（2）パソコン利用促進事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」に規定する「パソコン利用促進事業」を受託し、以下の事業を行っていたが、委託が終了したため、令和3年度は事業を休止した。

4. 福祉まつり事業（公4）

聴覚障害者、手話関係者、一般県民が交流を深め、聴覚障害者に対する正しい理解を広めること及び聴覚障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的として次の事業を実施した。

「県民ふれあい手話まつり」事業

「県民ふれあい手話まつり」事業は、各支部（岡山支部・倉敷支部・玉野支部・東備支部・笠岡支部・浅口支部・井原支部・美作支部）が持ち回りで順番に実施しており、令和3年度は倉敷支部が万全なコロナ感染防止対策を講じたうえで実施した。

手話まつりの対象者は、聴覚障害者だけでなく、地域の人を含め誰でも参加することができることとし、入場料や参加費は無料で行った。令和3年の実施内容は以下の通りである。

令和3年11月21日（日）に倉敷市笹沖のくらしき健康福祉プラザにおいて、「第37回県民ふれあい手話まつり」を開催し、参加人数は247名であった。

午前10時から開会式典、その後、アトラクション（和太鼓演奏・手話朗読劇）を行い、午後からは岡山放送アナウンサー篠田吉央氏による「ろう者と歩んだ28年」をテーマに講演と質疑応答が行われた。また、別フロアにおいて関係団体による作品展示やフリーマーケットが行われた。

手話まつりは、協会の機関紙やホームページなどを通して広く一般に呼びかけ、岡山県下の聴覚障害者、手話サークル会員などの関係者のほか、地域の一般の方々も来場され、地域交流にふさわしい場となった。また、講演会を通じて聴覚障害者に関わる諸問題について学び、地域の一般の方々に聴覚障害者についての理解と広める良い機会となった。

事業実施のための財源は、岡山県障害児（者）社会促進事業費補助金の助成金等を充当した。

5. 研修会事業（公5）

聴覚障害者自身の社会参加のための啓発又、聴覚障害者の福利厚生の実現を図るために、研修会事業を実施した。

（1）ろう高齢者の集い事業

令和3年10月25日（月）午後から第16回岡山県ろう高齢者の集いを開催した。福祉対策部から高齢部へ担当替えがあり、今回が初めての開催となりました。

将棋、束子（たわし）編み、くす玉折り紙、談話の4グループ分かれて楽しんだ。

（2）聴覚障害者フォーラム事業

毎年、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」から共同募金配分金を受けて、聴覚障害者の啓発を目的として聴覚障害者フォーラム事業を実施しているが、令和3年度はコロナ感染防止のため中止した。

(3) 聴覚障害者地域支援センター「ともろう・はうす」事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、会員からの利用料、寄付金及び指定正味財産を充当し、聴覚障害者地域支援センター事業「ともろう・はうす」を実施した。

「ともろう・はうす」は、聴覚障害者の様々な相談に応じると共に、日常生活に必要な情報提供及び生活向上のための学習、調理実習、社会見学等交流の場を提供し、地域で豊かな暮らしと聴覚障害者の社会参加の促進に努めた。

平成28年7月3日に正式開所し、「ともろう・はうす」の運営を開始した。開所当初は、週1回（月曜日）、現在は週2回（月曜日、土曜日）に運営した。

令和3年度の利用者は、聴覚障害者312名、健聴者274名、合計586名となった。

倉敷市内の協会会員を中心に活動し、岡山県内の聴覚障害者、手話関係者などが集い、バーベキュー、クリスマス交流会等を実施し、交流を深めた。また、参加者が得意とする作品作りを行った。参加者は協会の機関紙やホームページを通して広く一般に呼びかけるとともに各支部を通して協会会員以外の聴覚障害者にも呼びかけを行った。

事業実施のための財源は、会員からの寄付金及び指定正味財産を充当した。

6. 映画上映事業（公6）

聴覚障害者についての理解や啓発と手話の普及を図るために映画上映事業を実施している。

令和3年度は以下のとおり、全日本ろうあ連盟70周年記念映画「咲む（えむ）」の上映会を実施した。

実施日	上映会場	来場者数
令和3年11月14日(日)	きらめきプラザ	105名(1回目68名、2回目37名)
令和4年1月16日(日)	くらしき健康福祉プラザ	162名(1回目95名、2回目67名)
令和4年3月13日(日)	津山市久米公民館	77名(1回目35名、2回目42名)
令和4年3月13日(日)	きらめきプラザ	77名(1回目43名、2回目34名)

事業実施のための財源は、来場者からの上映料収入を充当した。

7. 岡山県聴覚障害者センター管理運営事業（公7）

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、聴覚障害者の社会参加と自立促進のため、独自事業として手話通訳者の養成・派遣を中心に取り組んでおり、それをさらに拡充するために岡山県聴覚障害者センターの指定管理を受け、効率的に各事業を実施した。岡山県と公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会とは岡山県聴覚障害者センターの管理に関する包括協定書及び年度協定書を結び、以下の事業を行った。なお、管理運営にあたっては、岡山県聴覚障害者センター運営会議において聴覚障害者の視点を生かすことを努めた。

(1) 手話通訳者養成事業

1. 目的

手話で特定の聴覚障害者と日常会話が可能な者に、身体障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務、手話通訳に必要な語彙や手話通訳表現技術等の指導を行うことにより、手話通訳者を養成し、聴覚障害者等の福祉の増進を図る。

2. 対象

聴覚障害者等の福祉に理解と熱意を有し、手話で特定の聴覚障害者と日常会話が可能な程度の者を対象に公募した。

3. 方法

厚生労働省通知の「手話奉仕員及び手話通訳者の養成カリキュラム」に則り、「基本課程」2講座（42時間）「応用課程」（42時間）「実践課程」（24時間）の3課程を設けた。身体障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務を理解させ、手話通訳に必要な手話語彙や手話通訳表現技術等の指導を行った。

4. 令和3年度実績

(1) 手話通訳者養成講座

① 手話通訳者養成講座の開催

講座	回数	受講者数	修了者数	開催地
基本課程Ⅰ	17	18名	14名	岡山市
基本課程Ⅱ	26	15名	13名	浅口市
応用課程Ⅰ	17	17名	11名	岡山市
応用課程Ⅱ	28	9名	9名	津山市
実践課程	12	14名	13名	岡山市

② 手話講座指導者の養成のための講座への派遣

- ・手話通訳者養成担当講師連続講座 26名派遣

③ 全国統一試験（岡山県登録試験）の実施

実施日	受講者数	合格者数	合格率
令和3年12月4日（土）	36名	7名	19.4%
※ 全国 の 状 況	1,444名	295名	20.4%

岡山県聴覚障害者福祉協会と岡山県手話通訳問題研究会及び岡山県手話通訳士協会の協力を得て実施委員会を設置し実施した。合格者について本人の承諾を得て岡山県認定手話通訳者として3名登録した。

④県登録手話通訳者を対象として頸肩腕症候群健康診断を実施した。

- ・対象：岡山県登録手話通訳者
- ・医師：玉島協同病院 道端達也医師
- ・健診：一次健診 問診票による健診 113名中104名受診【受診率92.0%】
二次健診 医師による健診 37名中 14名受診【受診率37.8%】

(2) 手話通訳士養成研修事業

1. 目的

裁判員制度の発足、政見放送への手話通訳導入の拡大等により、手話通訳者により高い専門性を持った人材の確保が求められており、登録手話通訳者を対象とした研修を行い、手話通訳士を養成するとともに手話通訳士を対象とした現任研修を実施する。

2. 研修対象者及び実施方法

研修名	対象者	実施方法
手話通訳士養成研修	登録手話通訳者	登録手話通訳者が手話通訳士の資格取得に向けた知識・技能の習得を図るため研修を実施した。
手話通訳士現任研修	手話通訳士	手話通訳士の知識・技能の向上を図るため、現任研修を実施した。
指導者養成研修	講師予定者	手話通訳士養成研修の講師を確保するため、全国手話研修センター（京都市）が実施する講師研修会へ講師予定者を派遣した。

3. 令和3年度実績

①【手話通訳士養成研修】

実施期間	回数	受講者数	修了者数	実施場所
令和3年4月24日 ～令和4年3月12日	14	11名	6名	岡山県聴覚障害者センター

②【手話通訳士現任研修】

実施期間	回数	受講者数	修了者数	実施場所
令和3年4月24日 ～令和4年3月5日	7	18名	6名	岡山県聴覚障害者センター

③【指導者養成研修】

実施期間	回数	受講者数	修了者数	実施場所
令和4年3月19日	1	13名	13名	岡山県聴覚障害者センター

④ 【手話通訳士緊急確保対策事業派遣】

- ・合格率向上対策講座 令和3年度は中止
- ・合格者フォローアップ講座

期間	人数	主催	備考
令和3年11月27日 ～令和4年2月6日	2人	聴力障害者情報文化センター	オンライン

⑤手話通訳技能認定試験（全国手話通訳士試験）

実施日	受講者数	合格者数	合格率
学科：令和3年5月30日（日） 実技：令和3年9月26日（日）	17名	2名	11.8%
※ 全国 の 状 況	1,071名	103名	9.6%

6. その他

実施方法については、岡山県聴覚障害者センター、岡山県聴覚障害者福祉協会及び岡山県手話通訳士協会が事業実施のための委員会を設立して決定した。

(3) 要約筆記養成事業

1. 目的

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を有する者に対して、手話取得の困難な中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの手段としての要約筆記の指導を行うことにより、高い専門性をもった要約筆記者の養成を行う。

2. 要約筆記者養成講座

実施期間	回数	受講者数	修了者数	登録者	実施場所
令和3年 6月27日～ 令和3年12月12日	16	19名	18名	4名	岡山県聴覚障害者センター

3. 全国統一要約筆記者認定試験（要約筆記者登録試験）

実施日	受講者数	合格者数	合格率
令和4年2月20日（日）	22名	4名	18.2%
※ 全国 の 状 況	814名	232名	28.5%

4. 要約筆記者指導者養成研修への派遣

(ステップアップコース)

クール	実施期間	参加者数	実施場所
1	令和3年10月30日～令和3年11月1日	2名	オンライン

(4) 手話通訳者設置事業

1. 目的

身体障害者の福祉に理解と熱意を有する手話通訳者を設置し、聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者（以下「聴覚障害者等」という）の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションの円滑化を推進し、聴覚障害者等の福祉の増進を図る。

2. 内容 センターに手話通訳者3名を配置

3. 主な業務

- ① 病気や交通事故など緊急時の手話通訳業務
- ② きらめきプラザ内での手話通訳業務
- ③ ろう者団体の要請による手話通訳業務
- ④ 聴覚障害者の生活相談業務
- ⑤ 市町村手話通訳者派遣及び各種団体手話通訳者派遣のコーディネート業務
- ⑥ その他

(5) 意思疎通支援者派遣連絡調整事業（連絡調整）

1. 目的

意思疎通支援を行う者の派遣に係る市町村相互間の連絡調整等広域的な対応を行い、聴覚障害者の福祉増進を図る。

2. 対象先 市町村

3. 令和3年度実績（年間派遣数）

派遣内容	派遣件数	派遣人数
広域派遣	242件	252名
同一市町村派遣	136件	139名

(6) 意思疎通支援者派遣連絡調整事業（派遣）

1. 目的

専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣を行い、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 年間派遣数

団体名	手話通訳派遣		要約筆記派遣	
	件数	人数	件数	人数
岡山県聴覚障害者福祉協会	6件	15名	2件	7名
岡山県難聴者協会	0件	0名	15件	14名
その他の団体	3件	6名	0件	0名

3. 団体別派遣数

【岡山県聴覚障害者福祉協会】（手話通訳者）

	開催年月日	会議・催事名	人数
1	令和3年6月22日	手話言語条例打合せ	2名
2	令和3年11月21日	第37回県民ふれあい手話まつり（開会・式典）	2名
3	令和3年11月21日	〃（講演会）	3名
4	令和4年3月12日	岡山県聴覚障害者福祉協会 青年部研修会	2名
5	令和4年3月12日	〃	2名
6	令和4年3月26日	岡山県聴覚障害者災害対策本部防災会議	3名

【岡山県難聴者協会】（要約筆記者）

	開催年月日	会議・催事名	人数
1	令和3年4月4日	運営会議	3名
2	令和3年4月13日	会計監査	2名
3	令和3年6月27日	理事会	4名
4	令和3年7月17日	通常総会	4名
5	令和3年8月1日	理事会	3名
6	令和3年9月4日	運営会議	3名
7	令和3年10月2日	運営会議	3名
8	令和3年10月15日	手話言語条例等に関する陳情についての意見聴取	1名
9	令和3年11月7日	運営会議	3名
10	令和3年12月4日	運営会議	3名
11	令和3年12月4日	ホームページ作成柵瀬氏レクチャー	2名
12	令和3年12月12日	食育教育	3名
13	令和4年1月16日	運営会議	3名
14	令和4年2月5日	運営会議	4名
15	令和4年3月27日	理事会	3名

【その他の団体】（手話通訳者・要約筆記者）

	開催年月日	会議・催事名	人数
1	令和3年12月19日	定例会	2名
2	令和4年1月15日	定例会	2名
3	令和4年3月6日	定例会	2名

(7) 自立支援拠点活動支援事業

1. 目的

難聴者、ろうあ者等の聴覚障害者の福祉増進並びに自立支援を行う拠点として設置されている聴覚障害者センターが中心となって、各種講習会等の事業を行い、生活文化の向上、社会参加の促進を図る。

2. 対象 聴覚障害者（ろう者、中途失聴者、難聴者）

3. 方法 県内広範に会場を設け、講習会や講座等を実施した。

4. 自立支援拠点活動支援のための講座

対象者	回数	参加者数
ろう者	9回	159名
中途失聴者・難聴者	14回	140名

5. 自立支援拠点活動支援のための講座（内訳）

【ろうあ者対象の講演会等】

	開催月日	講座等名称	参加者数	開催場所
1	令和3年 7月 18日	避難所体験～段ボールベット・簡易トイレ作りなど～	25名	倉敷市
2	令和3年 10月 16日	手話言語条例	8名	岡山市
3	令和3年 10月 24日	サギ被害予防について	27名	岡山市
4	令和3年 10月 25日	防災講演会	14名	岡山市
5	令和3年 11月 27日	電話リレーサービスのマナー講習会	15名	岡山市
6	令和3年 12月 5日	パソコン・オンライン講習会	8名	岡山市
7	令和3年 12月 6日	よくわかるニュース解説、時事問題	30名	岡山市
8	令和3年 12月 13日	パソコン・オンライン講習会	12名	岡山市
9	令和4年 3月 20日	玉野市家庭系ゴミ有料化説明会・講演会	20名	玉野市

【中途失聴者・難聴者対象の講習会等】

	開催月日	内容	人数	会場
1	月 1回程度	難聴者のための手話教室	121名	岡山市
2	令和3年 12月 18日	会計を勉強してみよう（県難協）	11名	岡山市
3	令和4年 1月 16日	生活応援グッズ体験会（県難協）	8名	岡山市

(8) 手話入り映像ライブラリー等貸出事業

1. 目的

映像等に手話、字幕を挿入したビデオ（DVD）の貸出を行うことにより、聴覚障害者に対する情報提供に資する。

2. 年間の貸出状況

貸出内容	利用者数	本数
映像ライブラリー（手話、字幕付き）の貸出	78名	258本
手話学習ビデオ・書籍の貸出	70名	147本

3. ビデオ等保有状況

	令和2年度末保有数	令和3年度受入状況	令和3年度末保有数
VHS	3,332本	▲552本	2,680本
DVD	770本	35本	805本

(9) 聴覚障害者コミュニケーション機器貸出事業

1. 目的

コミュニケーションの困難な聴覚障害者の自立自助努力を助長するため、地域における各種大会行事等に聴覚障害者コミュニケーション機器を貸し出すことにより、聴覚障害者に対する理解と地域ボランティアの拡充を図り、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 年間の利用状況

・利用者件数 359件 91名
（電源タップ・映像ケーブル・プロジェクター・パソコン・AVセット等）

(10) 聴覚障害者関係地域ボランティア研修事業

1. 目的

手話・要約筆記に係る地域ボランティアの養成及び活動の活性化を進めるために、手話通訳者及び要約筆記者に対し研修を行い、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 研修会

	年 月 日	内 容	対 象
①	令和3年 8月1日（日）	◇講演「手話通訳のあり方（対面通訳・遠隔手話通訳・電話リレーサービス）」 講師 堺市視覚・聴覚障害者センター 岩本 重雄 氏	手話通訳者 ※参加者 73名

②	令和3年 10月23日(土)	◇講演「知っているようで知らない補聴器の話」 講師 認定補聴器技能者 内田 篤憲 氏	要約筆記者 ※参加者 39名
③	令和4年 2月26日(土)	◇講演「日本語の魅力」 講師 山陽学園大学方言文化学科教授 山根 智恵 氏	要約筆記者 ※参加者 43名
④	令和4年 2月27日(日)	◇実技演習 ・聞き取り通訳演習 ・ロールプレイ	手話通訳者 ※参加者 59名

(11) 災害救援専門ボランティア研修事業

1. 目的

県が登録している災害救援専門ボランティア（手話通訳及び要約筆記者等の分野）に係る専門的な技術のレベルアップやボランティア意識の向上を図る。

2. 研修会

	年 月 日	内 容	参加者
①	令和3年 10月30日(日)	◇講演「避難所での情報保障のあり方」 講師 岡山県社会福祉協議会 木村 慎吾 氏 ◇実演 「遠隔通訳」	67名
②	令和4年 1月9日(日)	◇講演・演習「マイ・タイムラインを作って逃げ遅れゼロ！」 講師 国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所	52名

(12) 聴覚障害者の相談業務

1. 目的

聴覚障害者及びその家族等の相談に応じ、必要な助言・情報提供・適切な専門機関への紹介等を行う。

2. 年間相談件数（ろう者・難聴者・親族・健聴者 等）

相談件数	相談者数	同、内訳	
266件	276名	聾者	194名
		難聴者	23名
		親族	2名
		健聴者	57名
		その他	0名

3. 相談内容と件数

	相談内容	件数
①	生活・人間関係にかかわること	168件
②	情報保障にかかわること	10件
③	パソコン、インターネット等にかかわること	34件
④	福祉にかかわること	20件
⑤	教育にかかわること	0件
⑥	健康・医療にかかわること	3件
⑦	就労にかかわること	5件
⑧	就労にかかわること	21件
⑨	就労にかかわること	2件
⑩	その他	3件
	相談件数の合計	266件

(13) 聴覚障害者用の自主制作映画等の制作

1. 目的

聴覚障害者に対する情報提供に資するため、自主制作映画等を作成し、福祉の増進を図る。

2. 自主ビデオの作成

◇制作ビデオ

	制作ビデオのタイトル	経過
①	文化講演会	完成
②	手話語りハマちゃん手話 第1話～第13話	完成
③	消費生活センター × 3本	完成
④	消費生活センター「契約について考えよう」	完成
⑤	自主制作「岡山県立森林公園」	制作中
⑥	自主制作「津山藩と珈琲」(仮)	制作中
⑦	自主制作「センターふれあいフェスティバル」	制作中
⑧	消費生活センター「ももたのおかいもの」	完成
⑨	自主制作「地方の手話 岡山県2」	完成

◇字幕挿入ビデオ

	制作ビデオのタイトル	経過
①	平成の下津井を訪ねて	完成
②	火まつり沢田山恩徳寺	完成
③	龍泉寺の自然	完成

* 自主制作ビデオ等の保有状況 DVD 181本、VHS 13本

(14) その他の事業

聴覚障害者センターの管理に関する年度協定に規定する「その他聴覚障害者の福祉の向上のための事業」であり、センター独自に企画した事業。

1. 広報活動の充実

(1) 目的

広報誌「センターだより」の発行と公式サイト（ホームページ）の公開により、聴覚障害者に様々な情報を提供するとともに、好機に広報媒体に情報発信し、センターの周知と利用促進を図る。

(2) 広報誌「センターだより」の発行

- ① 第64号発行・郵送配布・・・6月
- ② 第65号発行・郵送配布・・・9月
- ③ 第66号発行・郵送配布・・・12月
- ④ 第67号発行・郵送配布・・・3月

(3) ホームページの公開

項目	内 容	
最終更新日	令和4年3月30日(通常週2回更新)	
アクセス数	TOPページ	887(累計 51,498)(平成29年4月1日～集計)
令和4年3月	Youtube	3,919(累計 389,901)(平成29年4月1日～集計)
ホームページ掲載内容	[MENU] TOP 、 ご案内 (概要・沿革、施設・交通案内、各部屋紹介、センター運営、センター事業、センターだより)、 映画・動画 (字幕付き映画、手話語り、デジタル岡山大百科)、 貸出・予約 (利用登録について、ビデオ、DVD、コミュニケーション機器、生活応援グッズ、研修室・会議室)、 通訳派遣 、 各種講座 (聴覚障害者のための講座、難聴者のための手話教室、手話通訳・要約筆記講座)、 その他 (更新情報、FAQ・よくある質問、お問合せ、リンク、サイトマップ)	

2. 手話通訳者派遣のコーディネート

(1) 目的

聴覚障害者に対する情報保障を推進するため、各種団体の要請を受け、県下全域にわたって手話通訳者派遣のコーディネートを行う。

(2) 年間団体派遣数：207件 370名

3. お昼休みのミニ手話教室

(1) 目的

きらめきプラザ内に勤務する各種団体職員を対象に、簡単な手話の講習を継続的に行い、館内のコミュニケーション・バリアフリー化を進め、聴覚障害者の福祉増進を図る。

(2) 内容

- ① 対象者 : きらめきプラザ内に勤務する各種団体職員
- ② 開催状況 : 月2回 (第1, 第3木曜日)
開催回数 18回、参加者数 105名
- ③ 開催場所 : きらめきプラザ

4. みんながきらめく手話の会

(1) 目的

手話の講座を修了した人を対象に、手話を介して交流や学習をすることにより、手話によるコミュニケーション能力を高めるとともに、高いレベルの手話を学びたいという意欲を育てる。

(2) 内容

- ① 対象者 : 手話に興味がある人
- ② 開催状況 : 毎週木曜日 (開催回数 36回、参加者数 309名)
- ③ 開催内容 : 手話を介した交流・学習会

5. 「しゅわ」の集い

(1) 目的

登録手話奉仕員を対象に研修を行い、奉仕員としてより手話に親しむとともに、ボランティアとして活動する意欲を高める。

(2) 開催状況 (開催回数 5回、参加者数 22名)

6. 手話通訳者の集い

(1) 目的

登録手話通訳者 (登録後6年以内) を対象に研修を行い、通訳者としてより一層の手話技術の向上と通訳者として活動する意欲を高める。

(2) 開催状況 (開催回数 7回、参加者数 58人)

7. のびのび子どもひろば

(1) 目的

聴覚障害児と聞こえる子どもたちが一緒に活動する中で、聴覚障害について理解を深めるとともに楽しむことのできる場を設ける。

(2) 活動内容

- ① 開催日 : 令和3年8月2日 (月)
- ② 参加者 : 29人 内訳 子ども 15名 (うち障害者 11名)
おとな 8名 (うち障害者 6名)
学生ボランティア 3名
要約筆記者 3名

- ③ 内 容 : 絵本よみきかせ、おまわりさんの話、工作、オンテナを使って体を動かす

8. 災害対策本部

(1) 目的

- ① 災害発生時に災害に関する情報収集を行う。
- ② 災害発生時に聴覚障害者への救援支援活動等対応策を検討する。
- ③ 災害に備え、聴覚障害者の防災意識や災害対応能力の向上を図る。

(2) 災害対策本部の活動内容

項 目	内 容
(1) 構 成	1 設 立 平成20年4月「岡山県聴覚障害者災害対策本部」を設立 2 構成団体 ① 岡山県聴覚障害者福祉協会 ② 岡山県難聴者協会 ③ 岡山県手話通訳問題研究会 ④ 岡山県手話通訳士協会 ⑤ 岡山県要約筆記団体連絡会 ⑥ 岡山県聴覚障害者センター
(2) 目 的	1 県内で緊急災害が発生した際、情報収集、支援活動の検討を行う。 2 緊急災害の発生に備え、聴覚障害者の防災意識と災害対応能力の向上を図る。
(3) 活 動	◇第1回会議（研修会）・・・災害救援専門ボランティア研修会と共催
	◇第2回会議（研修会）・・・災害救援専門ボランティア研修会と共催
	◇第3回会議 令和4年3月26日（土）10：00～12：00 自主防災組織の活動について

9. ろう高齢者交流会

(1) 目的

日ごろ、人との交流が少ない高齢聴覚障害者が同じ障害の友人や青年、女性と楽しい一時を持つ機会を提供する。

(2) 活動の概要

- ① 開催日時：令和3年12月19日（日）
- ② 開催場所：きらめきプラザ 401会議室
- ③ 内 容：講演「認知症と演劇」
 講師 菅原 直樹氏
- ④ 助 成：梶谷福祉基金
- ⑤ 参 加 者：50名

10. 中期目標の評価と見直し

(1) 目的

センターの各種事業の成果については、平成28年度に策定した第2期中期計画において設定した新たな評価指標に基づく事業評価を実施する。評価結果については、センター運営委員会、運営会議に報告し、外部評価も併せて行う。

なお、本計画は平成29年度から5カ年間の行動計画であり、令和3年度が最終年度となることから、令和4年度から始まる第3期中期計画を策定した。

(2) 令和2度事業評価

(ア) 総合評価・・・・・・2.6

(イ) 公表方法

◇第1回センター指定管理者運営委員会（令和3年5月29日（土）開催）

◇センター運営会議（令和4年3月13日（日）開催）

◇センターホームページ

(3) 中期目標の見直し

中期目標に基づき事業評価を行い、実績を検証し次期中期目標の策定に生かす。

11. 学校教育との連携

(1) 目的

県内の小中学生等を対象に、総合的な学習の時間等を活用して、聴覚障害者センターで聴覚障害者に対する理解を深めるため、体験学習を行う。

(2) 実施状況

	年月日	学 校 名	参加者数	備 考
1	令和3年10月6日, 8日	岡山県立岡山豊学校	2名	職場体験
2	令和3年10月18日~25日	岡山市立伊島小学校	140名	校外学習
3	令和3年10月29日	倉敷市老松小学校	5名	体験学習
4	令和3年12月24日	岡山市立岡山後楽館高校	26名	体験学習
	合 計		173名	

12. 関係機関や地域社会との連携

(1) 目的

聴覚センター単独での事業運営には限界があるため、地域社会や他の公共施設、団体との相互連携活動を推進し、事業内容の充実と多様化を図る。また、文化講演会などの開催を検討する。

(2) 関係機関や地域社会との連携状況

	年月日	連携団体名	連携事業内容
1	令和3年 7月 3日	社会福祉法人 全国手話研修センター	登録手話通訳者調査検討ワーキング グループ委員会
2	令和3年 8月 10日	社会福祉法人 全国手話研修センター	〃
3	令和3年 8月 23日	岡山県社会福祉協議会	岡山県災害福祉支援ネットワーク 推進会議
4	令和4年 2月 1日	岡山県社会福祉協議会	〃

(3) 文化講演会の実施

- ① 開催日時：令和4年3月20日（日）
- ② 開催場所：きらめきプラザ 301会議室
- ③ 内 容：演題「至誠の人 山田方谷」
講師 山田方谷に学ぶ会 代表世話人 渡辺 道夫 氏
- ④ 参加者：43名

1.3. 聴覚障害者生活支援グッズの貸出

(1) 目的

コミュニケーションの困難な聴覚障害者の自立自助を助長するため、生活応援グッズを貸し出すことにより、聴覚障害者の日常生活の円滑化を図り、聴覚障害者の福祉増進を図る。

(2) 年間の貸出状況（利用件数 4件、貸出人数 4名）

1.4. 岡山県青少年総合相談センター事例研修会

(1) 目的

きらめきプラザ内の各相談機関の連携並びに相談員の資質向上を図る。

(2) 実施状況（開催回数 8回、参加者数 8名）

1.5. 全国聴覚障害者情報提供施設協議会関係事業への協力

【目的】

全国聴覚障害者情報提供施設協議会への協力の一環として、職員の専門委員会への就任、全国レベルの研修会の開催など、事業の円滑な推進に貢献する。

(1) 手話通訳事業に関する専門委員会への出席

回	開催日	開催場所
第1回	令和3年 6月 2日（水）	オンライン会議
第2回	令和3年 7月 2日（金）	オンライン会議
第3回	令和3年 10月 15日（金）	オンライン会議
第4回	令和4年 2月 24日（木）	オンライン会議

- (2) 電話リレーサービス実施事業所意見交換会（オンライン会議）
 - ・開催日：令和3年5月6日（木）
 - ・内 容：電話リレーサービス実施に関する意見交換
 - ・参加者：1名
- (3) 総会・施設大会（オンライン会議）
 - ・開催日：令和3年6月24日（木）
 - ・内 容：事業報告・決算、事業計画・予算、役員選出 等
 - ・参加者：1名
- (4) 中国・四国ブロックソフト制作担当職員情報交換会（オンライン会議）
 - ・開催日：令和3年11月26日（金）
 - ・内 容：IT、映像制作関連の取組状況について 等
 - ・参加者：1名
- (5) 中国・四国ブロック意思疎通支援担当者意見交換会（オンライン会議）
 - ・開催日：令和4年1月13日（木）
 - ・内 容：手話通訳者派遣・要約筆記派遣の現状について 等
 - ・参加者：3名

16. 研修会への参加

【目的】

センター事業の円滑な実施のため、職員の資質の向上を目指す。

- (1) 令和3年度意思疎通支援担当者研修会
 - ・開催日：令和3年7月15日
 - ・場 所：ホテルビナリオ嵯峨嵐山
 - ・内 容：コロナ禍での意思疎通支援
- (2) 2021年度 遠隔要約筆記に関するウェビナー
 - ・開催日：令和3年9月4日
 - ・場 所：オンラインによる講義
 - ・内 容：アフターコロナを見据えて
～遠隔要約筆記における WebConnect のご紹介 他～
- (3) 令和3年度聴覚障害者関係施設等職員対象 新人職員研修
 - ・開催日：令和3年10月1日～31日
 - ・場 所：オンラインによる講義
 - ・内 容：①ろうあ運動の理念と取り組みの変遷
②事業と運動の関わりについて
③情報保障をめぐる情勢と課題
④一人の願いをみんなの願いに
～現場実践から、私たちが大切にしたい視点を考える～
⑤新人職員として周りから信頼される働き方

- (4) 令和3年度手話奉仕員養成担当講師連続講座
- ・開催日：① 令和3年10月23日～24日
② 令和3年11月20日～21日
③ 令和3年12月25日～26日
④ 令和4年3月19日～20日
⑤ 令和4年4月23日～24日
 - ・場 所：広島市
 - ・内 容：指導者養成
- (5) 令和3年度聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会
- ・開催日：令和3年11月10日
 - ・場 所：オンラインによる研修
 - ・内 容：①障害者の情報アクセシビリティについて
②字幕CMの取り組み
③新潟の映像制作の取り組み
④メディア専門委員会の体制変更及び次年度以降研修会のあり方について
- (6) 令和3年度手話通訳士試験合格者フォローアップ講座（再掲）
- ・開催日：令和3年11月27日～令和4年2月6日
 - ・場 所：オンラインによる講座
 - ・内 容：読み取り通訳・聞き取り通訳
- (7) 第34回全国ろうあ者相談員研修会
第25回全国職業安定所手話協力員研修会兼ろうあ者労働問題フォーラム
- ・開催日：令和3年11月20日
 - ・場 所：オンラインによる研修
 - ・内 容：①国の施策について
②きこえない人に対するメンタルヘルスの支援
③コロナ禍における相談支援・ソーシャルワーク
ろう者の就労を含む生活支援について
- (8) Webセミナー要約筆記者研修会
- ・開催日：令和4年3月20日
 - ・場 所：オンラインによる講座
 - ・内 容：助詞のチカラ

1.7. 指定管理者運営委員会の開催

平成17年のセンター設置以来、センターの適正な運営を図るため、岡山県聴覚障害者福祉協会と岡山県難聴者協会からそれぞれ選出された7名の委員で岡山県聴覚障害者センター指定管理運営委員会を構成し、センターの運営について協議する。

◇指定管理者運営委員会の開催実施 6回

18. 遠隔手話サービス等の推進

【目的】

聴覚障害者が医療機関等を受診するときや災害時等において、手話通訳者等の同行が困難な場合に、聴覚障害者の情報アクセス及びコミュニケーションを保障するとともに、手話通訳者等の感染防止などを図るため、市町村を実施主体とした遠隔手話サービス等を推進する。

◇令和3年度は意見交換会を実施した。

- ・開催日：令和4年1月31日（月）オンライン実施
令和4年2月 3日（金）オンライン実施
令和4年2月 7日（月）オンライン実施
- ・内 容：①各市町村の実施状況
②意見交換

19. 電話リレーサービスの推進

【目的】

聴覚障害者が必要に応じて健聴者と電話できるように、通訳者が間に入って通訳するサービスの提供体制を作ることで、聴覚障害者の福祉の促進及び地域生活における自立が高まることを目的とする。

令和3年4月1日から6月30日まで、厚生労働省の高度情報通信等福祉事業の電話リレーサービス提供事業を受け、全国の聴覚障害者情報提供施設のうち、岡山を含む7施設でモデルプロジェクトとしての電話リレーサービスを実施し、聴覚障害者の福祉の向上に努めた。

令和3年6月30日でモデルプロジェクトとしての電話リレーサービスは終了し、7月1日から「聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する法律」に基づく電話リレーサービスが開始されたことから、一層の普及を図るため、地域講習会を実施した。

- ・開催日：令和3年11月11日（木）
- ・内 容：①登録方法の説明
②登録作業の支援（2名が登録）
- ・参加者数：13名

20. センター設立15周年記念事業の実施（センターふれあいフェスティバル）

【目的】

令和2年9月に聴覚障害者センターが設立15周年を迎えたことから、一般県民のセンターや聴覚障害者への理解を深めるとともに、聴覚障害者団体と県民の交流促進を図ることを目的として記念事業を実施した。

コロナ対策の一環として、インターネット中継やパブリックビューイングを実施した。

- ・開催日：令和3年10月17日（日）10時～16時
- ・場 所：きらめきプラザ4F
- ・内 容：① 記念式典
 ② 記念講演（「目指した夢の向こう側」早瀬 久美氏）
 ③ ステージ発表
 ④ 展示・体験コーナー
- ・参加者数：218名
- ・予 算：各団体の負担金及びサン基金・小山基金
- ・その他：実行委員会の開催

岡山県聴覚障害者センター管理運営事業（公7）実施のための財源は、岡山県聴覚障害者センターの運営に係る岡山県からの指定管理料及び受講料等を充当した。

8. 電話リレーサービス通訳オペレーション業務（公8）

平成30年9月1日から、電話リレーサービス提供事業を「岡山県聴覚障害者センター運営管理事業（公7）」として実施していたが、令和3年7月から協会の自主事業として実施することに伴い、「電話リレーサービス通訳オペレーション業務（公8）」を追加（新設）し、電話リレーサービス提供事業を実施した。

（1）目的

聴覚障害者が一人で必要に応じて健聴者と電話できるよう電話リレーサービス（聴覚障害者が健聴者と電話する際に、通訳者が間に入って通訳するサービス）を実施することで、聴覚障害者の福祉の促進及び地域生活における自立の推進に資することを目的とするものである。

（2）年間の利用状況

事業番号	利用期間	通 訳 方 法		合 計
		文 字	手 話	
（公7）	4月～6月	1,262件	1,180件	2,442件
（公8）	7月～3月	5,402件	8,483件	13,885件
	合 計	6,664件	9,663件	16,327件

事業実施のための財源は、一般財団法人日本財団電話リレーサービスからの業務委託費を充当した。

II 収益事業

(1) 出版物販売（収1）

一般財団法人全日本ろうあ連盟から販売されている書籍等及び公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会が独自作成した書籍等を事務所で常時販売し、公益社団法人岡山県聴覚障害者主催の社員総会やふれあい手話まつり及び岡山県手話通訳問題研究集会や耳の日の集いの共催事業時に販売を行った。

(2) その他の収益事業

① コピー機器の使用料

各種イベントで使われる拡大コピー機の印刷の使用料の徴収を行った。

② 事務手数料の徴収

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の支部行事や会員がスポーツ大会に参加する際の事務手続きのための手数料を徴収した。

その他

(1) 保健体育に関する事業（収2）

聴覚障害者の心身の健康とスポーツ活動の推進を図るため、体育部の中に各種運動部を設け、全国・中国地区・岡山県等のスポーツ大会に選手派遣しているが、令和3年度は、コロナ感染防止のため中止となった。

日 程	内 容	会 場
令和3年4月25日 ～5月30日	第21回岡山県障害者スポーツ大会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	岡山県
令和3年5月30日	第21回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技中国・四国地区予選大会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	岡山県
令和3年9月16日 ～9月19日	第55回全国ろうあ者体育大会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	兵庫県
令和3年10月23日 ～10月25日	第21回全国障害者スポーツ大会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	三重県

(2) 全国手話検定試験実施

第16回全国手話検定試験

- ・開催年月日 令和3年10月9日（土）、10日（日）
- ・会 場 岡山市
- ・試験内容 5級・4級・3級・2級

(3) 聴覚障害者の福利厚生に関する事業

日 程	内 容	会 場
令和3年6月20日	第10回公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会社員総会 (小規模開催)	岡山市
令和3年10月18日	手話言語フォーラム in 岡山 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	倉敷市
令和3年10月24日	第16回岡山県高齢者のつどい (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	岡山市
令和3年11月21日	第37回県民ふれあい手話まつり	倉敷市
令和4年3月31日	2022年 耳の日の集い (YouTube 開催)	岡山市

(4) 関係官庁及び関係団体との連絡と協力に関する事業

ア. 岡山県・岡山県身体障害者福祉連合会等の会議への出席

イ. 全日本ろうあ連盟関係その他の各種行事、研修会等への派遣実施

日 程	内 容	会 場
令和3年6月10日 ～6月13日	第69回全国ろうあ者大会及び付帯行事 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	栃木県
令和3年6月11日	2021年度全国福祉担当者会議 (オンライン開催)	栃木県
令和3年6月11日	2021年度全国情報・コミュニケーション担当者会議 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	栃木県
未 定	2021年度ろう教育担当者会議 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	未 定
令和3年9月23日 ～9月26日	第33回全国ろうあ高齢者大会 全国ろうあ高齢者スポーツ大会 第35回全国ろうあ高齢者ゲートボール競技大会 第12回全国ろうあ高齢者グラウンド・ゴルフ大会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	岐阜県
令和3年10月8日 ～10月10日	第32回全国専従職員研修会、出版物対策研究会議 (オンライン開催)	全日本ろうあ連盟
令和3年10月1日 ～10月3日	第51回全国ろうあ女性集会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	秋田県
令和3年11月26日 ～11月28日	第55回全国ろうあ青年研究討論会 (オンライン開催)	鳥取県
令和3年11月19日 ～11月20日	第35回全国ろうあ者相談員研修会・ 第26回全国職業安定所手話協力員等研修会兼 ろうあ者労働問題フォーラム(オンライン開催)	静岡県

ろうあ者労働問題 フォーラムに併設	2021 年度全国労働担当者会議 (オンライン開催)	静岡県
令和3年10月29日 ～10月31日	2021 年度全日本ろうあ連盟機関紙学校 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	広島県
令和3年12月11日 ～12日	第21回全国ろう者将棋大会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	福岡県

(5) 中国地区ろうあ連盟関係の各種行事や研修会への派遣

日 程	内 容	会 場
令和3年 7月24日 ～ 7月25日	第44回中国地区ろうあ女性集会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	島根県
未 定	第27回中国地区ろう文化学習会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	未 定
令和3年11月13日 ～11月14日	中国地区ろうあ連盟秋の集い 第29回中国地区合同手話研修会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	岡山県
未 定	第34回中国地区ろうあ高齢者大会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	未 定

(6) 手話関係団体との連携・協力

岡山県手話通訳問題研究会と岡山県手話通訳士協会との連携を深めるため、連絡・会議・研修会を開催した。

- ア. 三団体代表者会議 月1回開催
- イ. 聴覚障害者の参政権をすすめる会
- ウ. 手話放送委員会
- エ. 手話言語法対策推進委員会
- オ. 各種行事の連絡会議、研修会

県内の手話サークル会員・手話通訳者・聴覚障害者が一堂に集まり、手話・聴覚障害者問題について研究・意見交換を行い、お互いの資質向上を図った。

【開催実施】

日 程	内 容	会 場
令和3年7月18日	第36回岡山県手話通訳問題研究集会 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)	岡山市
令和3年8月20日 ～8月22日	第54回全国手話通訳問題研究集会 (オンライン開催)	山形県

(7) 聴覚障害者関係団体との連携・協力

岡山県手話通訳士協会、岡山県手話通訳問題研究会、公益社団法人岡山県難聴者協会、岡山県要約筆記団体連絡会、岡山県聴覚障害者親の会、岡山県立岡山聾学校同窓会、岡山県立岡山聾学校PTA等との連携を深めるため、会議を開催した。

- ア. 聴覚障害者の参政権をすすめる会
- イ. 手話言語法対策推進委員会
- ウ. 岡山県聴覚障害者福祉協会災害対策本部
- エ. 岡山県聴覚障害者相談員連絡協議会

(8) その他、目的達成に必要と認める事業

① 岡山県保健福祉部障害福祉課と随時意見交換を行い、お互いの意志疎通を図ると共に、福祉制度の充実を目指した。

② 各専門部と各支部の自主的な活動及び運営への援助を行った。

ア. 各専門部の自主的な活動及び運営への援助

本協会組織の中に、組織部・手話対策部・福祉対策部・文化部・機関紙部があり、それぞれの事業を援助。

イ. 各支部の自主的な活動及び運営への援助

7支部（岡山・倉敷・玉野・井原・浅口・東備・美作）があり、必要に応じて各支部の事業を援助した。

③ 管理事業

総会・三団体会議・理事会・各専門委員会等を開催し、本協会の運営と事業の推進を図った。

ア. 総会

イ. 三役会議

ウ. 理事会

エ. 各種専門委員会